

# つばめ飛び、地域輝く

第四回 新幹線開業を機に 県北地域連携による地域活性化へー玉名地域

県北地域の活性化を図る

『つばめリレーフォーラム』

新幹線の全線開業を控え、今後の地域活性化を考える「つばめリレーフォーラム」が県北地域でスタートしました。第一回フォーラムは昨年

十月、玉名市で開かれ、講演や事例発表が行われました。参加者からは「タクシー業界は新幹線と在来線の駅が分かれるため、客待ちのリスクが高まるなどのマイナス面を心配していますが、

観光の玄関口という位置付けが確立すれば、山鹿や阿蘇など周辺地域をつなぐ観光タクシーとして、新たな可能性も広がるのでは」「荒尾・山鹿など周辺地域の人人々と協力し、県北を挙げた地域活性化に取り組みたい」と意欲的な声も寄せられました。このフォーラムは今後、鹿本・菊池・阿蘇地域での開催が予定されています。

菊池・阿蘇地域での開催が予定されています。

住みたい、そして滞在したい

まちづくり

十八年前から始まった積極的なまちづくり。当時「まちづくり」という言葉がまだ一般的ではなかった時代、あらゆる模索の結果、たどり着いたのは『住んでみたい・子育てしたい・老後を過ごしたいまちづくり』でしたと語るのは、



玉名市商工会連盟会長

竹内 方茂さん  
例発表を行った玉名市商工会連盟会長の竹内方茂さん。

商業・教育・

農業・工業・

福祉・環境、すべてのバランスが取れてこそ魅力ある豊かなまちが生まれるという考えの下、さまざまな分野でまちづくりを進めてきました。

「わたしたちにとつて新幹線開業は目的ではなく、地域の活性化のための手段にほかならないのです。そこで、わたしたちの次の課題は新幹線で訪れる観光客が滞在したいと思うまちづくりだと考えています」。

県北地域の連携を図り、点を線でつなぐ観光地に

玉名市周辺には豊かな自然の

ほか、西南の役に関連する歴史散策や小代焼を中心とした陶芸体験など、魅力的な観光資源があります。さらに、山鹿・菊池・阿蘇など周辺地域をつなぐ観光コースを作り、『熊本北部エリアの観光は新玉名駅から』という県北観光の玄関口としての役割を担いたい、そのためには地域資源をうまく活用した個性的な駅づくり、まちづくりが不可欠、地域を越えた多彩な人材ネットワークも重要だと考えています」と語る竹内さん。点を線でつなぐ観光へ、県北地域の連携による新たな魅力の創造は今、始まったばかりです。



「第1回つばめリレーフォーラム」玉名会場の様子



九州新幹線「つばめ」

## は〜い! 県議会

今回の「は〜い! 県議会」では、「意見書・請願・陳情」についてお知らせします。

### 😊「意見書・請願・陳情」って何?

Q1 「意見書」とは、どんなものですか?

A1 意見書とは、県民の皆さんの福祉の向上や利益になることなどについて、国会や関係行政機関に対して提出する県議会としての意見のことをいいます。

そのほか、その時々、の国政や社会問題などについて、県議会の意思を対外的に明らかにする決議というものもあります。

Q2 最近、どのような内容の意見書がありますか?

A2 国民のための郵政事業改革や三位一体の改革に関する要望など国の施策にかかわるもの、介護保険、年金制度など生活に密着するものなど幅広い分野にわたっています。

Q3 「請願」「陳情」とは、どんなものですか?

A3 請願や陳情は、県民の皆さんと県議会をつなぐ大切な制度です。県の仕事や制度などについて、こうしてもらいたいという意見や要望などがある方は、どなたでも提出することができます。



請願は、1人以上の県議会議員の紹介が必要であり、紹介議員のないものは、陳情として取り扱われます。

Q4 「請願」「陳情」を受け付けた後はどうするのですか?

A4 受け付けられた請願は、本会議の開会中、一般質問終了後に議長から関係する委員会に付託され審査が行われます。

委員会としての意思を決めるため採決を行った後で、本会議で議決されます。

議決後、その結果は、提出者および県の関係部局に通知されることになります。

なお、陳情は、関係する委員会に参考のため送付されます。県議会では、請願や陳情をよく調査して、県政に反映できるよう努めています。

請願に基づいて、県議会としての意見書を国会などに提出する例も数多くあります。

Q5 「請願」の手続きは、どうすればいいのですか?

A5 請願は、文書で提出していただきますが、その請願書の書式などは、決められたものがあります。手続きの詳細は、県議会事務局議事課にお尋ねください。



県民の皆さんの意見や要望を直接県議会に提出できる方法があるんですよ。